

岡田 清が「へら学の森泉園」で魅せる、「底」攻略現在版!
 モンスター新べらも十分狙えるペレ底&段底理論大公開!!

特集 秋を満喫するためのペレ底&段底

12

22 2006シマノ・ジャパンカップへら釣り選手権大会 野田幸手園

32 第15回マルキュー・クラブ対抗へら鮎釣り選手権大会 椎の木湖

39 2006がまかつ・へらぶなチーム対抗戦東日本大会 野田幸手園

42 伊藤さとし 道満河岸釣りでニューフロロラインで痛快に釣り込む!!

44 石井旭舟 へらぶな浪漫街道
 《第四十七回》岡山県 旭川

52 小池忠教 K'S FORM & STYLE
 《Vol.10》長竿チョーチン両ダンゴその2 三名湖

★AREA REPORT

58,66 鎌北湖(埼玉県) 本誌・伊藤洋一
 60,68,71 赤祖父湖(富山県),中山陥落2号池(福岡県) 山本一朗,河口正伸
 61,69 宝川樋門&善太川樋門(愛知県) 後藤 誠
 62,70 隠れ谷池(和歌山県) 前田誠志

129 私の宝物
 《Treasure.12》ゲスト:金子則子さん

134 竹とともに生きる。
 《第38回》「壮志」 森田和明

137 棚網 久の我流
 《第十回》円良田湖で東釣り!!

143 杉山達也のSUPER SPLASH!
 《ROUND.11》杉山流ウドンセット「クワセ」理論 野田幸手園

148 田辺哲男&小林恭之の間答無用へらツアー
 《最終回》《Vol.12》最後は二人でペレ底爆釣締め! 筑波湖

152 吉川ひとみのあっち こっち そっち♡
 《Vol.10》ひとピー、超大型を釣る!?
 ショップ:上州屋大宮店 釣り場:道祖土池

156 稲毛利夫 野釣り場地獄巡り
 《最終回》グッバイ稲毛師匠!? 天神池ほか(栃木県鹿沼市、壬生町周辺)

193 北川穂積 西の交友録
 《第12回》ゲスト:杉山武弘 於:へら研阪神クラブ40周年記念ヘラブナ展

196 戸張 誠 関べら戦記
 《第十回》10月例会 三島・豊英湖 “追う辛さ”

200 上州屋&VARIVASカップ・ベアへら鮎釣り大会 椎の木湖

202 NEO-HERA PRO LEAGUE 2006 最終戦 椎の木湖

206 釣果予想クイズ

208 フィッシングレディ
 《今月のレディ》田口 歩さん 隼人大池

p.165~

釣り場割引 クーポン券

野田幸手園 椎の木湖
 清遊湖 谷和原大沼 上尾園
 F.A吉羽園 谷養魚場 将監
 柳生F.P 筑波白水湖 泉堰
 逆井HC 友部湯崎湖
 水藻FC 甲南へらの池
 三和新池 狭山HC 新座LC
 川越FC 府中HC 当麻池
 芦田湖水光園 鳥羽井沼
 朝日池 大上へら池 霧の沼
 小川つり堀園 清川つくしFC
 千代田湖・舟宿 千和
 精進湖・釣宿 金風荘
 西湖・釣舟 白根
 西湖・釣り宿 丸美
 西湖・釣り宿 青木ヶ原
 相模湖・釣舟 五宝亭
 相模湖・釣舟 天狗岩
 吉森HC



▶今月の表紙
 field: へら学の森 泉園
 angler: 岡田 清
 photo & layout: 本誌・里

へら鮎 12月号 Dec.2006 No.492

76 へら鮎釣り 超基本講座【道具作り編】
 《第24回》竿掛け・玉の柄作り③

81 ガチンコ道場
 《第12回》タイワへらマスターズ2006 地区大会開催

88 都祭義晃 カリスマ伝説
 《Vol.12》がまかつへらぶなチーム対抗戦 東日本大会 野田幸手園

92 石川裕治が伝授する王者の法則
 《最終回》王者、大いに語る!

99 江成公隆のトーナメント、復活への道。
 《Vol.54》名称未設定

106 すずめつつ へら鮎調査隊! 天野正由
 《最終回》
 《調査ファイル12》地元のパトロールをしてくてちょ~だい ホームグラウンドの数々

110 水辺のプラネタリウム 吉本亜土
 《今月の星空》「オオタナゴ」

114 最狂へら戦士養成所“鮎の穴” 漢タカハシ
 《第四十六話》カルトでゴー♡ 恐怖&ミステリー。潜入、戦慄のダム湖!!

119 へら鮎ブログ 西田美明
 《最終回》「葉隠れ=雲隠れ」の巻

122 母なる湖…琵琶湖べらを釣れ! 南元彦
 《最終回》あれもあきまへんかー?

126 野田幸手園新聞

162 ワクワク管理釣り場情報

172 小売店情報

★へら鮎BOX
 里ちゃんの新米編集長雑記

177 情報発信基地

178 ボイス

181 日研&全放協 平成18年度放流日程表

186 コラム『日研だより』 日研広報部長・遠藤克己

187 《最終回》コラム『日々是、勉強!』 ホワイト

188 コラム『紀州“想いの竹”のものがたり』 中峯伸行

189 プレゼント発表

190 広告索引

191 編集後記

STAFF

●Producer
 根本百合子

●Editor in chief
 田中里史

●Editor
 大場勝良
 諸富一秋

伊藤小百合
 伊藤洋一

●Planner
 <オフィス・えぶ>
 藤原 肇

この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画！—いよいよ再発進！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

〈Vol.54〉

名称未設定

「一歩進んで二歩下がる!?!」

今月のタイトルはなんぞや?と、お感じになられる読者のために説明しておこう。

「名称未設定」とは、マッキントッシュ (パソコン) で新規にフォルダを作ったり、書類を作ったりした時に、

最初に表示されるデフォルトの名前である。ウィンドウズなら「新しいフォルダ」とか。

毎月締め切りの1週間ほど前に、「今月のタイトル」を聞く。カラーである目次から先に作るためだ。

19日の午後、江成とやっと連絡がとれた。が、

『全く決まってない。ネタも無し。今月は勘弁してくれよ…』

だと!

「無理無理! 里はG杯もあるんだってば! それに、マスターズ予選はどうしたんすか!」

すると、

『マスターズは…じゃ、何か書くよ。タイトルは名称未設定ってことでヨロシク』

いったいマスターズで何があった!?

予選通過者の欄に江成の名前が無かったことだけは確かだが…。

そして、どうなる原稿!?

まったく毎度毎度「じゃ」じゃないよアンタ…。

今月も胃薬が手放せない里であった。

by 里ちゃん

10月14日、朝6時15分。今年の僕のトーナメントは全て終わった。

この日はダイワへらマスターズの一次予選。目覚ましに全く反応出来なかった僕は、時計を見て頭が真っ白になった。

受付時間が6時20分まで。競技開始は7時から。受付にはカンベキに間に合わない…どころか、今はもう7時〜。会場である椎の木湖まですっ飛んで行っても、短時間勝負では無理。下手すると釣りする時間は半分も残っていないだろう。やっちゃった…。

仕方なく会場である椎の木湖へ電話。無断欠席は来年以降の出場権に響く。運良くクラブハウスにダイワ関係者の方がいた。

「すみません、本日出場予定の江成と申します。ちょっとアクシデントがありまして…急遽欠席させていただきますが…」

誰が寝坊だと言えるか。

「ハイ、承知致しました。それでは、参加資格証に記載されている受付番号をいただけますか?」

参加資格証? ああ、そういうば郵送されて来てたっけな…何処へ置いたっけ。うーんと…あ、ファクスの脇か…。

ダメだこりゃ。シモノジャパンカップに続き、ダイワへらマスターズでも参加証を忘れるところだった。いくらなんでもたるみ過ぎだ。…いや、実は今回は仕掛けこそ作らなかつたが、何とウドンを仕込んでいた。夜中の2時に帰宅してすぐ、「ウドンだけは」と、眠い目を擦りながら必死に作ったのだ。

今思えばこれがアタになった。

そのまま家を出ればいいものを、「よっしゃ〜」とちょっとした達成感と共にソファに倒

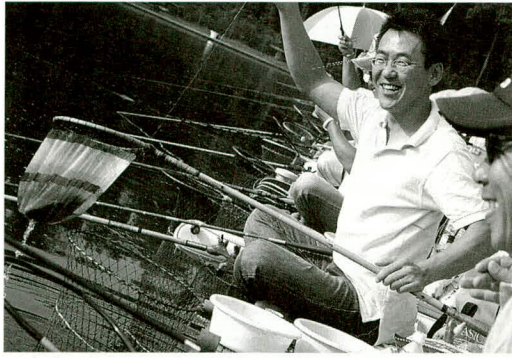


れ込んだのが運のツキ。そこから全く記憶がない。

朝っぱらから下タバタ歩き回った僕のせいで起きて来た女房。散らかすだけ散らかした台所で呆然と立ちつくす僕を見て大笑いし、そしてこう言った。

「ちよっどよかつたんじゃないの？ アンタ、この調子じゃ体壊して死ぬわよ。でなけりゃ事故起こすか。好きなことをしに行つて、一人で死ぬならどうでもいいけどさ、他人様を巻き込むかもしれないだよ。」

相変わらず手厳しい女房ではあるが、僕のことを心配してくれていた。確かにそうかもしれない。まだほんの短い時間だが、「面白いから」「きつと今しか出来ないから」で、ガムシヤラにやつてきた。今回の寝坊は「お約束」ではなく、自己防衛だったかもしれない。言われてみれば、僕も寝坊してメチャクチャ悔しいというわけでもなかった。「どうせ通りっこないんだし」というのではない…とは思っけど。さて、原稿のネタは???



※本文の内容とは一切関係ありません

夕陽をくしべー。

ぼっかり空いた休日。

「ちよっどいいから、溜まった仕事をやつけに行くかな」なんて言おうものなら、家族中から白い目で見られそう。というのも、10月は労組関係で休日をけっこう使ってしまったので、家族サービスは皆無だったからだ。いや、厳密に言えば、そういう日の夜だけは「外食」とか、「ゲーセン（今年はずキングではなく恐竜キング）」でごまかしてあるのでゼロではない。が、そんなもので満足する苦もない。自分の罪悪感を軽減させるためのもの。実は問題は、現在の僕が自分の用事を中心にシフトを組めることにある。自分の用事とは言っても、「週末は優先的に休んで釣り三昧」というわけには当然いかない。そんなことをすれば、年中無休の社内であるという間にソッポ向かれてしまうから、僕の用事とはすなわち、日常業務以外の「お仕事」を指す。なるべくシフトに負担をかけないように配慮すれば、

「いやもう、めんどくせえ！ 休みで行くからいいよー！」

ってなことになる。もっとも「労組の仕事」に限定して言えば、これは「会社側の仕事」ではないので、休日を充てることはいたしかたない。しかし、家族にとってみればどちらにも「会社」休日にパパが不在に変わりはしない。ここに、プラス釣りの。この時期の釣りはトーナメントのため週末が多い。で、今回その釣りがキャンセルに。家族の期待は計り知れない。

とはいえ僕の体を気遣った女房の提案で、午前中は寝直し、午後から出かけることにした。よくよく考えてみたら僕は連休で、翌15

日は久しぶりの家族サービスにと空けておいた日だった（ホントはマスターズで疲れてるだろうし、さっそく原稿にとりかかるための時間）ので、近場で茶を濁すことにした。

横浜市内の公園。もちろん夕夕。名前は忘れてしまったが、派手な遊具が多く、親子で夢中。夕方、腹が減ってそろそろ帰ろうかと切り出すと、女房も長男もダイワのキャンセルで浮いた予算を狙っていやがった。ハイハイ。そこで、以前から一度連れて行ってやりたいと思っていた、同じ市内の岡田君の店「とりまる」に、家族を招待した。土曜日というので早めに電話を入れる。

「いや、今日はもう無理かなあ。でも江成君がどうしても言うんなら特別に座敷を空けてきます。特別ですよ？ そのかわり料金5割増しです」

どこかで聞いたようなセリフだが、いつもお茶目な岡田君である。特別に座敷が空くわけではないので、夕方の早い時間ならまだなんとかなるというところだろう。週末のゴールデンタイムにお出かけの方は、マジで予約をお勧めする。なんてたって、店の外に並ぶほどの人気店なのだ。並んでいるのももちろん「へら客」ではない。

僕の女房は、普段は食に小うるさいことは言わないが、永田町で某政党に勤務していた経験を持つため、自分ひとりでは絶対に入れないような高級店にしょっちゅう連れて行かれ、自分の金では間違っても口に入れることができないような高級食材もさんざん食ってきた。そんな女房でさえ、「いまだかつて経験したことのないレバー」が、とりまるにはある。

1年前、ダイワへらマスターズ予選前日、岡田君から電話があったという話は書いた。今年もダイワの「当日」に、僕が岡田君に電話した。二人して何やってんだかなあ…。

芋掘り・カマ掘り。

15日も休み。原稿のネタをどうしようかと悩み出す僕をよそに、子供達は二日も続けて家にいるおとちゃんに興奮気味。寝坊がお約束のクセによく言うよってなもんだが、せっかくなら寝坊出来るはずの休日であっても、体内時計で早起きしてしまう僕は、子供達より間違いなく早く起きて行動をとるのになつて、いつも感じながら見ているのだけれど、起きてくるとまず最初に僕の部屋を覗きにくる。まだ1歳半の次男坊でさえもそう。たまに台所の換気扇の下で一服していると、僕の部屋を覗きにいって不在と思ひ、振り返ったときの彼らのがっかりした顔が、僕を見つけて晴れやかなる瞬間はいつ見ても楽しく嬉しい。でもやっぱり今日は遠出は勘弁してくれ。夜は原稿がある。体力を温存せねば…。

女房がネットで引張ってきた近場のイベントは、芋掘り。まあいいだろう。おい、やったことないしな…。

川崎市を北上する。日曜の尻手黒川道路は大渋滞でウンザリ。南北を縦断する道路が数少なく、しかもそのどれもが細いのが川崎のネックだ。途中、なぜか頭にひっかかる地名に何度か出くわす。この時はいよいよ気がななかつたが、芋掘り中に職場から送られて来たメールで謎は解けた。

「江成殿。本日横浜○○店にて、業務中の交通事故発生。今晚緊急ミーティングを行います。店長は全員参加のこと。だつてよーん♡」

自分の店ではなかったので一安心だが、これでも自分の店だったらと考えると、すつとほけてブツ切るわけにもいくまい。途中の地名もソレで頭の片隅にあったのだ。前回

で僕が召集されなかったのは、横浜ではなく川崎だったからである。

原稿もあるし、日頃から溜まった仕事もある。変な話、会社と呼ばれるのは好都合で、すぐにも駆けつけたいくらいだったが、「それは親としてどうよ？」という天使だか悪魔だかどっちか分からない邪魔者の囁きが聞こえた。結局21時に子供達を風呂に入れてから、家を出た。さすがに寝かし付けるまでの時間はなかった。ゴメン。

重い雰囲気でのミーティング。結局終わったのは25時。疲れが全くとれないまま、公私共に仕事は全く進まないまま、二日間が過ぎた。



こんなところで書いてもどうなのかって思いますが、ウチの店の9月の業績がちょっと凄いことになっていまして、表彰されちゃったりなんかしちゃったワケですよ。そんなでもって、何カ月か前に書きましたけど、店長になるにあたっての面接みたいな感じで、偉いさんの前でプレゼンするとか何とかって話、ありましたよね？ 結局ソレってナシになったんですけど、今回はもうちょっと偉い人達の前で、面接どころか「ウチはこうやって結果出したぜえ〜」ってな発表をすることになったんです。で、今回は流れませんで、19日に無事終わりました。高校の卒業式以来、ほぼ20年ぶりのステージとなりましたが、日頃からこの連載原稿で鍛えたインキトークをぶちかまして参りました。

入社以来まったく興味のなかった出世街道ですが、社内の「アマサ」に気付いた以上、やるっきやありません。行けるとこまで行ってみます。しょせん歯車、されど歯車。もう

ちょっと高級な素材の歯車を目指してみます。

この話が来たのは12日の晩ですから、里ちゃんよりキツイ締め切り設定ということになります。で、ヒラで過ごした10年間の遅れを一気に取り戻し、かつ15年分に値する評価を得ようっていう裏テーマが自分にはすく湧いてきましたから、そりゃあもう気合入りまくりでした。まず、パワーポイントの原稿を作り、翌日に提出。17日にOKが出ました。あとはアドリブですが、当然ながら、「アドリブ調」の綿密な原稿を用意（この間、この連載の原稿はもちろんストップ♡）。本番は震えがおさまらず苦戦しましたが、何とかアドリブを演じ切ることが出来ました。間違いなく、読者の皆さんのおかげです。ありがとうございます。

ところで何が「そろそろヤバイ」のかと言いますと、正確に書くことと特定されちゃうので書けません、ウチの会社って全国に従業員が「たーっくさん」いるんですね。「とーってもマイナー」な専門誌を読んでいる社員が間違いない苦だつて思えるくらいに数なんです。この連載は実名で書いていますので、勤め先のことを「アホ」だの「アマイ」だのと書けるのは今月号が最後かなってことです。で、僕の職場のグチに耐えかねていたそのアナタ！もう安心して下さい。でも次号のネタもない…。

19日の夕方、里ちゃんから電話。「原稿どうですか？ 締め切り明日ですけど？」

里ちゃんのブラックジョークに、僕は咄嗟に切り返すことが出来なかった。「え？ 明日だったっけ？ 今月はそんなに早かったっけか？」

「言ったじゃないですか〜！ 今月は僕ちゃんも杯もあるんで早めに願いますって…」「マジ？ そんなの知らねーよオー！」

「…やだなあ冗談ですって♡ 25日の朝必着でお願いしますネ」

「脅かすなよ〜！ 真に受けちゃったじゃねーかよ!! でも全くとってないんだけど…」

連載の原稿なんて出来るワケがなかった。しかも、21・22日は町内の祭…。

「ま、締め切り前日までどーせ何もやらないだし、祭のあと二日あるだけマジか…」

もう開き直るしかない。それとも原稿落として開き直ろうか…それはアカン。そして、すでに日付は変わり、25日。お約束である。でも何とかなりそう。現在、2時33分。

20日午後、ガチンコ平山氏からの着信アリ。その日、僕は折電を掛け忘れ、お祭りを挟んで23日の着信でやっとお話することが出来た。

「江成君、プレゼンの結果はどうだったの？ もう〜気になっちゃって気になっちゃってさあ…」

氏には釣り仲間という枠を超えたお付き合いをしていただけているようで、僕はホントに嬉しい。勝手ながら僕も平山氏には、「アニキかおとうか」っていうくらいに信頼を寄せさせていただいている。普通じゃ話さないようなことでも何でもかんでも報告させていただいている。ので、今回の氏のセリフとなるわけだが、メジャーターナメントの全国大会の結果を知りたがっているくらい氏の勢いは、本当に涙が出るほど嬉しかった。



※本文の内容とは一切関係ありません

「浅ダナスタイル・ワイドプラス」

杉山作

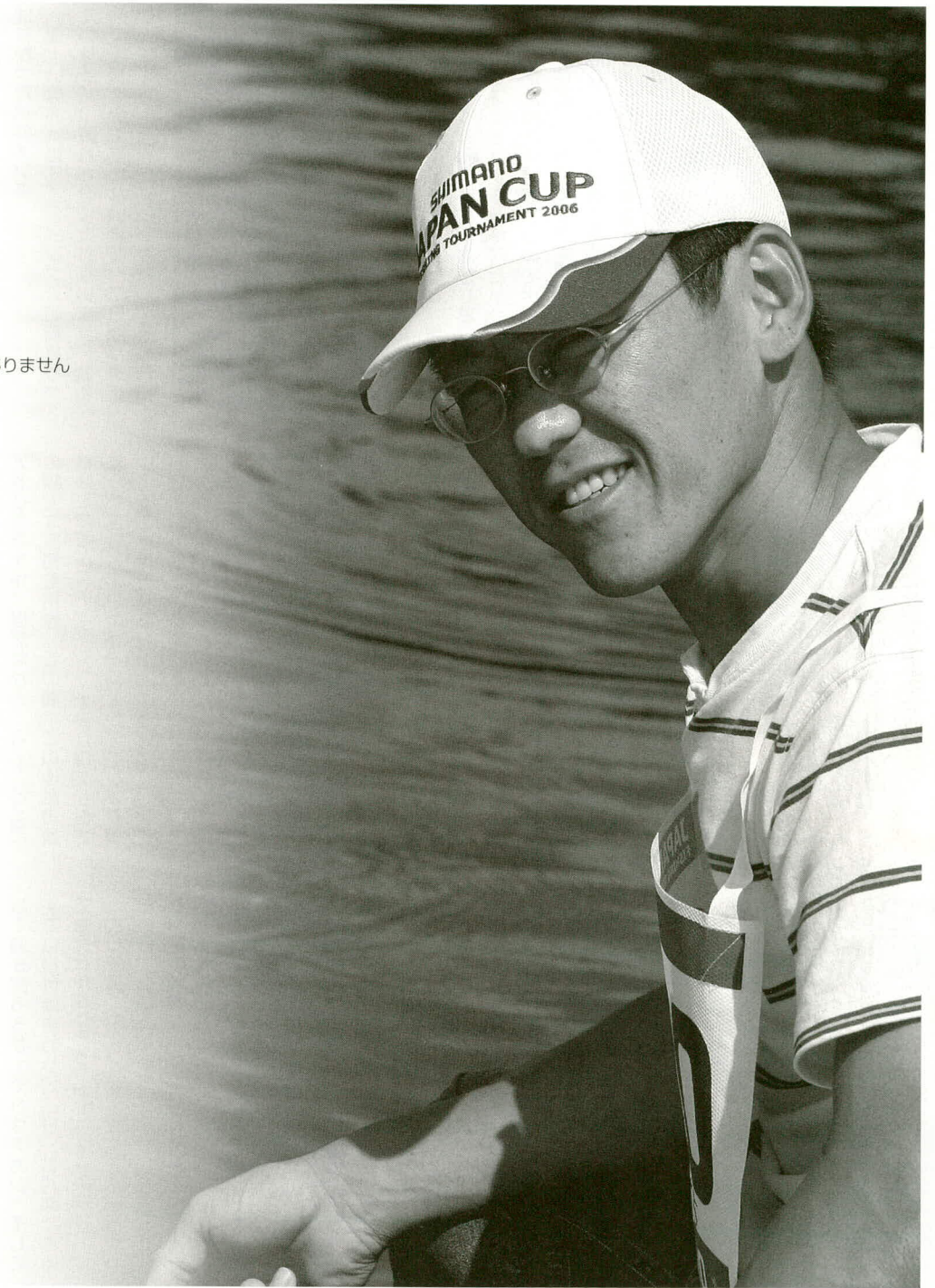
トップ	胴	カチン	価格
七番	10	7	7.5
八番	11	8	7.5
九番	12	9	7.5
十番	13	10	7.5

※トップは内径1mmパイプトップ
ボディは15.5mm径一本取り
1本¥6,300 (税込)

発表以来、絶大な支持を得ている「浅ダナスタイル・ワイド」のビッグサイズ版、登場。
バランスはそのままに、サイズ、ボディ、トップにボリュームをプラス！

取り扱い店〈五十音順〉
埼玉・越谷 かわせみ (☎048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具 (☎0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館 (☎03-3499-5025)
埼玉・入間 への三水 (☎042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその (☎0285-72-2215) 神奈川・川崎 鮎仙人 (☎044-287-7470)
東京・吉祥寺 丸勝 (☎0422-22-8923) 東京・青梅 吉川釣具店 (☎0428-22-2467)

※本文の内容とは一切関係ありません



ほとんど参加しなくなっている町内会活動。でも、自分の子供も楽しみにしているという不純な理由もあって、年に一度のお祭りは必ず参加するようにしている。

今年も子供達の神輿についてまわったが、今年はずっとしたアクシデントがあった。何番目かの接待所に着き、子供神輿を揉む時に、それは起きた。神輿の落下。前代未聞である。例年、声も出さず肩も入れない子供達と書いているが、まさに他力本願を露呈する事態となった。

「誰の神輿だよ？」

「おじさん達の…」

「お前らの、だろ〜！ やる気あんのかよ？」

「お菓子が欲しいだけです」

「…わかった。それでもいいよ。じゃあ、対価のためにちったあ働けよ」

「だってみんなやってないじゃん」

「他人は他人だよ。自分は自分だろう？ 確かに重いし、痛いし、カッターイよな。でも頑張るところってあるぜ？ こんなのも踏ん張れなかつたらこの先ないぜ？」

「この人神輿で人生語ってる。バツカみてー」
確かに馬鹿みたいだ。しかし…ケガ人が出てしまっているのだ。

「バカヤロー！ 馬鹿はテメーだコラ！ 一人ケガしてんじゃねーかよ！ 目に入ったら失明だゾ！ 責任取れんのかお前！」

「責任者はおじさん達でしょ？」

はじけた瞬間だった。

「おお。その通りよ。けどな、お前はまだ子供だから責任は取らされねーけど、恨みだけは一生追わされるぜ。耐える度胸もないクセに突っ張ってんじゃねーよ。大人をナメ過ぎだ、

釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の路入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)
03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)
044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)
03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)
044-711-8266

鮒仙人(神奈川県川崎市)
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとリエぐり

http://www.office27.com
E-mail: info@office27.com

お前。親どこだ? 呼んで来いバカヤロー!
他人の子をここので叱ったのは初めてだった。ホントは照れ隠しだったのかも知れない。大勢の子供達の前で、たった一人を吊るし上げたのはマズかった。後味が悪い。さらに……
「ゴールまであと一つ、最後の接待所。役員向けのビールが並ぶ。」
「私達もいた方がいいんですけどね?」
山車をひく小さな子供の若い母親だった。接待所の係の人も絶句。思わず「どうぞ」と言ってしまったらしいが、やはり前代未聞だったそうだ。
「ゴールまであとわずかの距離。酔っぱらうはずもない。町内会費もきちんと納めているのであれば、「公平」を求める意識も分かる。でも、町内会費で「公平」を謳うなら、ボランティアではあるものの役員達が提供している「労働力」はどうなの? ていうか保護者としての自覚は? それに、いくら広いつつ、道路脇の歩道だぜ?」
「おかわりいいますか?」
さっきの母親が仲間を連れてソロソロと……
「おい! ガキは誰か見てんのか〜!」
(遠くで聞こえた:「江成さん! 落ちついてえっ〜」)

ナリーズ消滅?

忙しさにかまけて、10月のナリーズ例会を忘れてました。いや、忘れてはいなかったんですが、タイムアウト。「会長の都合で不定期開催」に関しては、皆さん「いいよいいよ」「合わせるよ」と言ってお下さっているのですが、肝心の本人がコレでは話になりませんね。みんな僕からの連絡を待ってたんだろうと思うと申し訳ない思いです。で、お詫びというか何とかというか、10月28日に椎の木湖でフレンドシップ大会(4名1組のチーム戦)があつて、ナリーズも僕も含めて4名で参加するんですが(寝坊の責任重大! 前日は会議&酒!)、4名の内の「最高釣果」を「会長権限」において不参加会員全員にプレゼント致します。ここのつて、たいがい平均釣果がもらえるんですけど、江成の勝手な都合でフレンドシップを10月例会と「認定」致しますので、特別措置でございます。ワハハ! 流会は避けたゾ!

ホッシー(保科氏の新・愛称↑これも会長権限? ちょっと乱用しすぎでは: by里ちゃん)

は、残念ながらジャパンカップ制覇はならなかったようであります。また、里ちゃんもG杯ダメだったみたいです。じゃ、とりあえずフレンドシップで初のお立ち台といきますか! やっぱ会長が乗らないと始まらないっしょ! みんな遠慮しちゃうったんだよね? ね?
(勝手に言ってる! ……というか、やっぱ里もナリーズ会員なワケ? by里ちゃん)

なんと、里も楽しみにしていたアニキのダイワへらマスターズ挑戦は、「寝坊」という最悪の形であっけなく完結。なんてこったい……。原稿を読めば有無を言わさずガミガミと怒る気にもなれないが、メジャー地区予選を悠々と突破していた「昔の江成公隆」を知る人間としては、一抹の寂しさを禁じ得ないであります……。

どうやらお仕事が絶好調らしいアニキだが、奥様が心配されているとおり、体だけは気を付けるべし。何事にも突っ走っちゃう性格だから、本当に倒れないか心配です。

さて、椎の木湖フレンドシップ選手権が迫っております。果たして、ナリーズ旋風は吹き荒れるのか? 次号で報告! それとアニキ、今度は遅刻しないでね。
by里ちゃん

※今月号の写真はダイワへらマスターズ予選でのアニキの奮闘ぶりを掲載する予定でしたが、前出の理由により、今月号の写真が1枚もありません。まして、アニキは原稿を締め切りギリギリ(というか、アニキも本文中で「締め切り」という言葉を使っていますが、実は正規の締め切りなどとの間に過ぎているのです)で送ってくださったため、これ以上原稿を書き増ししていただく時間的余裕も全くありません。今、僕の横では、怒りに打ち震えていらっしやる印刷屋さんで凄顔で睨んでいます。よって、空いたスペースには先月号分のアウトカットを掲載させていただいた次第です。関係各位に深くお詫びするとともに、以後このようなことがないように厳しく監督していく所存です。従って、写真は本文の内容とは一切関係ありません。

by G杯もズッコケて怒りの里ちゃん



へら鮎

12

Monthly fishing magazine herabuna

岡田 清が「へら学の森 泉園」で魅せる、「底」攻略現代版!
モンスター新べらも十分狙えるペレ底&段底理論大公開!!

特集

秋を満喫するための

ペレ底&段底

秋は

「底」が面白い。

迫真のメジャートーナメントレポート!

- 2006シマノ・ジャパンカップへら釣り選手権大会
- 第15回マルキュー・クラブ対抗へら鮎釣り選手権大会
- 2006がまかつ・へらぶなチーム対抗戦東日本大会
- 上州屋&VARIVASカップ・ペアへら鮎釣り大会
- NEO-HERA PRO LEAGUE 2006 最終戦

本誌オフィシャルサイト

へら鮎
NET

<http://www.herabuna.jp>

開設!

さらなる深淵を、 「本グル」で狙う。

くわせ重視の本格派グルテン「本グル」。
その特長は、グルテン繊維がマッシュを抱え込んで、
しっかりと持つこと。
だから、長尺の竿での深ダナ狙いにはもちろん、
沖打ちのバラケを付けたセット釣り、底釣りにも、抜群の威力を発揮します。
エサ持ちがいいから、安心してアタリを待てるうえに、誘いも効く。
しかも軽く、へら鮎の吸い込みのよさもダントツ。
厳寒期の食い渋りや、最深部を狙い撃つ釣りに、必携といえるでしょう。



●本グル 300g

丸 マルキュー株式会社
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
Eメール・ホームページ
<http://www.marukyu.com/i>

マルキューホームページ内の「へら鮎天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。
<http://www.marukyu.com/> マルキューへら鮎メールマガジンも、お申込はこちらから。

釣れるヒント満載!!
へら鮎天国

